



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月28日

上場会社名 株式会社トクヤマ 上場取引所 東
 コード番号 4043 URL https://www.tokuyama.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員(氏名) 横田 浩
 問合せ先責任者(役職名) 広報・IRグループリーダー(氏名) 小林 太郎 (TEL) 03-5207-2552
 四半期報告書提出予定日 2020年8月6日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	70,624	△7.6	6,653	△5.3	6,674	6.0	5,205	7.1
2020年3月期第1四半期	76,465	0.8	7,026	△20.9	6,298	△27.4	4,859	△27.0

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 6,390百万円(61.8%) 2020年3月期第1四半期 3,951百万円(△34.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	74.94	—
2020年3月期第1四半期	69.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	376,444	185,090	45.8	2,484.60
2020年3月期	383,447	180,429	44.0	2,431.21

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 172,570百万円 2020年3月期 168,861百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	35.00	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310,000	△1.9	28,000	△18.3	28,000	△14.7	22,000	10.3	316.75

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	69,934,375株	2020年3月期	69,934,375株
2021年3月期1Q	478,389株	2020年3月期	478,862株
2021年3月期1Q	69,455,591株	2020年3月期1Q	69,452,147株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算説明資料は、TDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	P. 9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 9
(追加情報)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
2021年3月期 第1四半期連結累計期間	70,624	6,653	6,674	5,205
2020年3月期 第1四半期連結累計期間	76,465	7,026	6,298	4,859
増減率	△7.6%	△5.3%	6.0%	7.1%

(売上高)

半導体関連製品は販売が堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から苛性ソーダの海外市況が下落したこと、石油化学製品の販売価格が軟調に推移したこと、及び歯科器材などの欧米向け輸出数量が減少したこと等により、前年同期より58億40百万円減少し、706億24百万円（前年同期比7.6%減）となりました。

(売上原価)

原燃料コストの減少等により、前年同期より49億93百万円減少し、483億49百万円（前年同期比9.4%減）となりました。

(販売費及び一般管理費)

研究開発費等の増加はありましたが、広告宣伝費の減少、及び新型コロナウイルス感染症拡大の影響から旅費・交通費などの経費が減少したこと等により、前年同期より4億73百万円減少し、156億21百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

(営業利益)

原燃料コストの減少はあったものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から苛性ソーダの海外市況が下落したこと、及び石油化学製品の販売価格が軟調に推移したこと等により、前年同期より3億73百万円減少し、66億53百万円（前年同期比5.3%減）となりました。

(営業外損益・経常利益)

営業外損益は、前年同期より7億48百万円改善しました。

以上の結果、経常利益は3億75百万円増加し、66億74百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

(特別損益・税金等調整前四半期純利益・四半期純利益・親会社株主に帰属する四半期純利益)

特別損益は、前年同期より1億82百万円悪化しました。

以上の結果、税金等調整前四半期純利益は、前年同期より1億93百万円増加し、63億51百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

応分の税金費用を加味した四半期純利益は、前年同期より5億82百万円増加し、55億12百万円（前年同期比11.8%増）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期より3億45百万円増加し、52億5百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

(セグメント別の状況)

売上高

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメリ ティー				
2021年3月期 第1四半期 連結累計期間	19,817	12,572	20,069	12,839	14,782	80,080	△9,456	70,624
2020年3月期 第1四半期 連結累計期間	24,292	12,118	21,480	13,513	15,811	87,216	△10,751	76,465
増減率	△18.4%	3.7%	△6.6%	△5.0%	△6.5%	△8.2%	—	△7.6%

営業利益

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメリ ティー				
2021年3月期 第1四半期 連結累計期間	2,586	1,321	1,444	704	1,351	7,407	△754	6,653
2020年3月期 第1四半期 連結累計期間	3,868	1,598	666	665	942	7,741	△715	7,026
増減率	△33.1%	△17.4%	116.7%	5.8%	43.4%	△4.3%	—	△5.3%

(注) 各セグメントの売上高、営業利益にはセグメント間取引を含めております。

(化成品セグメント)

苛性ソーダは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から国内の販売数量が減少したこと、及び海外市況が下落したことにより、減益となりました。

塩化ビニルモノマーは、国産ナフサの価格下落による製造コストの低減はあったものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から海外市況が下落したことにより、減益となりました。

塩化ビニル樹脂は、販売数量は軟調に推移したものの、原料価格と販売価格のスプレッドを維持できたことにより、前年同期並みの業績となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は198億17百万円（前年同期比18.4%減）、営業利益は25億86百万円（前年同期比33.1%減）で減収減益となりました。

(特殊品セグメント)

半導体向けの多結晶シリコンは、5Gの導入やリモートワークの増加を背景に販売が堅調に推移し、前年同期並みの業績となりました。

電子工業用高純度薬品は、海外向けを中心として販売数量が増加し、増益となりました。

乾式シリカは、徳山化工（浙江）有限公司において、米中貿易摩擦の影響等から販売数量が減少し、減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は125億72百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は13億21百万円（前年同期比17.4%減）で増収減益となりました。

(セメントセグメント)

セメントは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から輸出数量が減少したものの、国内出荷への影響が限定的だったこと、及び原料価格の下落で製造コストが低減したことにより、増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は200億69百万円（前年同期比6.6%減）、営業利益は14億44百万円（前年同期比116.7%増）で減収増益となりました。

(ライフアメニティーセグメント)

医薬品原薬・中間体は、ジェネリック医薬品向けの販売数量が堅調に推移し、増益となりました。

プラスチックレンズ関連材料は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響からメガネレンズ用フォトクロミック材料の欧米向け輸出数量が減少し、減益となりました。

歯科器材は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から欧米向け輸出数量が減少し、減益となりました。

医療診断システムは、臨床検査情報システム及び検体検査自動化システムを中心に販売が増加し、増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は128億39百万円（前年同期比5.0%減）、営業利益は7億4百万円（前年同期比5.8%増）で減収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は3,764億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ70億2百万円減少しました。主な要因は、保有株式の時価評価等により投資有価証券が13億2百万円、商品及び製品が10億64百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が67億1百万円、現金及び預金が42億69百万円減少したことによるものです。

負債は1,913億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ116億63百万円減少しました。主な要因は、支払手形及び買掛金が42億18百万円、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が27億61百万円、設備代金未払金の支払等によりその他流動負債が26億69百万円、未払法人税等が17億79百万円減少したことによるものです。

純資産は1,850億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ46億60百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の積み上げ等により利益剰余金が27億70百万円、その他有価証券評価差額金が9億29百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の事業環境については、新型コロナウイルス感染症拡大の状況、及び為替や原燃料価格の変動など、不透明な部分はあるものの、現時点で業績は想定範囲内で推移しております。そのため、2020年5月15日に公表した業績予想を据え置きます。今後、業績予想の修正が生じる場合は速やかにお知らせいたします。

本業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	81,524	77,255
受取手形及び売掛金	72,929	66,227
リース債権	34	34
商品及び製品	18,506	19,570
仕掛品	10,051	9,971
原材料及び貯蔵品	16,088	16,152
その他	4,823	5,168
貸倒引当金	△108	△104
流動資産合計	203,849	194,276
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	108,636	109,245
減価償却累計額	△78,109	△78,481
建物及び構築物(純額)	30,526	30,763
機械装置及び運搬具	465,761	464,949
減価償却累計額	△420,631	△420,685
機械装置及び運搬具(純額)	45,129	44,263
工具、器具及び備品	22,488	22,721
減価償却累計額	△20,024	△20,187
工具、器具及び備品(純額)	2,463	2,534
土地	33,363	33,519
リース資産	5,011	5,789
減価償却累計額	△2,370	△2,640
リース資産(純額)	2,641	3,149
建設仮勘定	9,067	9,530
有形固定資産合計	123,192	123,761
無形固定資産		
のれん	3	1
リース資産	59	54
その他	1,594	1,571
無形固定資産合計	1,657	1,627
投資その他の資産		
投資有価証券	19,385	20,687
長期貸付金	2,302	2,325
繰延税金資産	19,164	18,922
退職給付に係る資産	9,569	10,013
その他	4,382	4,890
貸倒引当金	△56	△59
投資その他の資産合計	54,747	56,780
固定資産合計	179,597	182,168
資産合計	383,447	376,444

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,795	38,576
短期借入金	3,082	3,057
1年内返済予定の長期借入金	16,106	15,987
リース債務	870	977
未払法人税等	2,896	1,117
賞与引当金	3,175	1,765
修繕引当金	5,159	4,942
解体撤去引当金	439	378
製品保証引当金	84	103
損害賠償損失引当金	84	144
その他	20,545	17,875
流動負債合計	95,241	84,927
固定負債		
長期借入金	94,255	91,613
リース債務	2,028	2,479
繰延税金負債	204	233
役員退職慰労引当金	239	246
株式給付引当金	86	100
修繕引当金	944	1,514
解体撤去引当金	529	592
製品補償損失引当金	158	152
環境対策引当金	196	159
退職給付に係る負債	2,277	2,273
資産除去債務	6	6
その他	6,848	7,054
固定負債合計	107,775	106,426
負債合計	203,017	191,354
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	20,018	20,072
利益剰余金	137,665	140,436
自己株式	△1,809	△1,809
株主資本合計	165,874	168,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	332	1,261
繰延ヘッジ損益	△35	△28
為替換算調整勘定	703	647
退職給付に係る調整累計額	1,986	1,990
その他の包括利益累計額合計	2,986	3,870
非支配株主持分	11,568	12,520
純資産合計	180,429	185,090
負債純資産合計	383,447	376,444

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

	(単位：百万円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	76,465	70,624
売上原価	53,343	48,349
売上総利益	23,121	22,274
販売費及び一般管理費		
販売費	10,633	9,933
一般管理費	5,461	5,688
販売費及び一般管理費合計	16,095	15,621
営業利益	7,026	6,653
営業外収益		
受取利息	89	19
受取配当金	191	246
持分法による投資利益	247	226
業務受託料	421	430
その他	775	552
営業外収益合計	1,725	1,476
営業外費用		
支払利息	443	402
業務受託費用	434	414
総合福祉団体定期保険料	180	186
その他	1,395	452
営業外費用合計	2,453	1,455
経常利益	6,298	6,674
特別利益		
固定資産売却益	4	26
補助金収入	12	—
特別利益合計	16	26
特別損失		
固定資産売却損	15	—
減損損失	—	84
災害による損失	13	99
固定資産処分損	127	105
損害賠償損失引当金繰入額	—	59
特別損失合計	156	348
税金等調整前四半期純利益	6,158	6,351
法人税等	1,228	839
四半期純利益	4,929	5,512
非支配株主に帰属する四半期純利益	69	306
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,859	5,205

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	4,929	5,512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△232	917
繰延ヘッジ損益	6	7
為替換算調整勘定	△646	66
退職給付に係る調整額	△78	3
持分法適用会社に対する持分相当額	△27	△116
その他の包括利益合計	△978	878
四半期包括利益	3,951	6,390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,884	6,089
非支配株主に係る四半期包括利益	67	301

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益(損失)に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(損失)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメリ ティ				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	24,114	9,065	21,256	13,053	8,975	76,465	—	76,465
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	178	3,053	224	459	6,835	10,751	△10,751	—
計	24,292	12,118	21,480	13,513	15,811	87,216	△10,751	76,465
セグメント利益	3,868	1,598	666	665	942	7,741	△715	7,026

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外販売会社、運送業、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究開発に係る費用及びセグメント間取引消去額等です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
記載すべき重要な事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメリ ティ				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	19,627	9,858	20,023	12,592	8,521	70,624	—	70,624
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	189	2,713	45	246	6,260	9,456	△9,456	—
計	19,817	12,572	20,069	12,839	14,782	80,080	△9,456	70,624
セグメント利益	2,586	1,321	1,444	704	1,351	7,407	△754	6,653

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外販売会社、運送業、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究開発に係る費用及びセグメント間取引消去額等です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
記載すべき重要な事項はありません。